

# みどりとともに

第 25 号

2013 年 1 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会  
水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号  
林業会館 3 階



## ❖❖❖❖ も く じ ❖❖❖❖

新年のごあいさつ .....	2
第47回全国木材産業振興大会 宮崎市で開催 .....	3
森林湖沼環境税の継続について .....	4~5
協会だより .....	6~7
平成24年度治山・林道関係コンクール審査委員会開催	
協会の主な動き .....	8



## 新年のごあいさつ

(社)茨城県治山林道協会会長 山口 伸 樹



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に際しまして格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月には県西地域において竜巻が発生し大きな被害を生じましたが、他にも局地的な豪雨や台風の発生が常態化するなど、列島各地でも甚大な被害が発生いたしました。

森林は、このような災害から県土を保全するとともに、地球温暖化の防止や水源のかん養などをはじめとする様々な公益的機能を発揮し、県民の生活を守る大きな役割を果たしておりますが、こ

れら機能の発揮には適切な森林整備が不可欠となります。

県では、平成20年度から森林湖沼環境税を導入し、間伐等の森林整備を強力に進めてきており、本年からはそれを延長し、引き続き緑の循環システムの構築を目指し森林整備を進めるとしてありますが、その基盤となる林道の整備や治山事業を推進することも極めて重要であると考えております。

当協会といたしましても、関係機関と連携して治山・林道事業が円滑かつ効率的に推進できるよう一層の努力をして参る所存でございますので、本年もなお一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆様方にとりまして新しい年が希望に満ちた年となりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 柴田 眞 幸



新年明けましておめでとうございます。

平成25年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

本県の農林水産業に甚大な被害をもたらしました東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から、2年が経とうとしております。県では震災からの復興を最優先に、林道や治山施設、農地、漁港など生産基盤の復旧を進めるとともに農畜産物などの安全性確認検査や風評被害払拭のためのキャンペーンなどに全力で取り組んできたところでございます。

治山・林道施設の復旧につきましては、早期復旧に努め、平成24年度内に完了できる見通しでございます。

このような中、森林・林業の活性化につきましては、「茨城県森林・林業振興計画」に基づき、木

を植え、育て、伐採し、木材を有効利用する「緑の循環システム」の確立に取り組んでいるところでございます。

特に、森林の整備のため、林道や作業道などの生産基盤の整備を進めるとともに、平成25年度から5年間延長することとなりました森林湖沼環境税等を活用し、緊急間伐や海岸防災林の再生に取り組み、機能豊かな森林づくりを推進してまいります。

さらに、山地災害を防止するだけでなく、海岸部においては津波による被害を軽減するなど、県民の生命・財産を守る治山事業につきましては、今後も計画的な整備に努めてまいります。

今後とも、震災からの復興とあわせて、元気な本県農林水産業の実現に向けて努力してまいりますので、皆様方のなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げまして、年頭のあいさつと致します。





# 第47回全国木材産業振興大会 宮崎市で開催

## 茨城県木材協同組合連合会

平成24年10月17日、宮崎市で「第47回全国木材産業振興大会」（主催＝全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会）が「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興」そして「くらし、街づくりに森林（もり）の恵みを活かそう」をスローガンに、全国から800名の参加の下、盛大に開催されました。



挨拶する 宮崎県木材協同組合連合会  
同大会実行委員長 横田欽一郎氏

宮崎県は、2年前に猛威をふるった口蹄疫で木材関連業界も含めて甚大な被害を受けたが、その折に全国から様々な支援・協力を得、そのため今回は宮崎県業界の意向により、特別に開催順を変更して同地での開催となりました。

大会決議では、次の6項目について審議しました。

1. 東日本大震災復興に不可欠な木材・木質資材の需給安定と地域材を活かした支援対策の充実に取り組もう
1. 住生活空間、公共建築物、商工業施設など多様な分野における木材・国産材利用の大幅拡大に取り組もう

1. 地域材利用促進のため、住宅・木製品等にポイント付与、税制度など新たな需要拡大対策や木造の公共建築促進対策拡充の実現に取り組もう

1. 間伐材・未利用材の木質バイオマス発電利用新規利用分野の開拓・技術開発の促進に取り組もう

1. 安全・安心のJAS製品、合法木材・木製品乾燥材などの供給体制の整備や担い手の育成確保に取り組もう

1. 木材産業の活性化のため、経済対策、中小企業対策などの充実強化に取り組もう  
が宣言決議されました。



第47回全国木材産業振興大会の様子

続いて、表彰式が行われ本県から木材産業功労者として入江貞一氏が全国木材組合連合会長賞を、浅川清司氏が全国木材協同組合連合会長賞をそれぞれ受賞されました。

関連行事として、基調講演「なぜ、いま、スギなのか」（有馬孝禮東京大学名誉教授）、パネルディスカッション「国産材時代を切り拓く・九州林業・木材産業」が行われました。

# 森林湖沼環境税の継続について

茨城県農林水産部林政課

森林湖沼環境税は、森林の公益的機能の一層の向上を図るため、平成20年度から5年間の課税期間として導入されました。県では、この財源を活用して、緊急に手入れが必要な人工林の間伐や県民生活に身近である平地林等の整備を進めるとともに、公共施設や木造住宅での県産材利用の促進のほか、子どもたちが森づくり体験などを行う森林環境教育に支援してきました。

森林の整備等により公益的機能は維持、向上しましたが、今もなお、荒廃した森林が残るなど森林環境保全や木材利用の拡大などに取り組むべき課題は残されています。

このため、県では平成24年6月～7月に、県民の皆様から広く意見等を伺うための県民の意見を聞く会と、これまでの実績等を広報するためのPRキャラバンをそれぞれ、県内5地域で開催しました。また、同年7月～8月に事業実績と今後の取組み案及び税制案について、パブリックコメント（110人社からの意見は235件）を行い、これらの結果を踏まえ、税の今後のあり方を検討してまいりました。



間伐された森林

この度、平成24年茨城県議会第4回定例会において、茨城県森林湖沼環境税条例の改正案が可決され、平成29年度まで課税期間が延長されました。



開設された作業道



高性能林業機械による造材  
(プロセッサ)

ここでは、平成24年度までの税活用事業の取組や今後の税を活用した施策の方向性についてご紹介します。

## 1. 森林湖沼環境税活用事業の取組

(平成20年度～24年度の見込み)

### (1) 森林環境保全のための適正な森林整備の推進

- ・ 間伐面積 6,844ha
- ・ 作業道の開設 286,433m
- ・ 間伐推進員の配置 12,189人日
- ・ 補助作業員の養成（平成20～21年度） 115人



- ・高性能林業機械の利用促進  
 レンタル経費支援 延べ281か月  
 導入経費支援（平成20～21年度） 9台
- ・平地林・里山林整備面積 1,096ha
- ・県産材流通・加工施設整備（平成21～22年度）  
 宮の郷工業団地における原木市場、木材乾燥施設及びラミナ製材工場の整備
- (2)いばらき木づかい運動の推進
  - ・木造住宅建築に対する助成 1,223戸
  - ・县市町村等施設の木造化・木質化 34施設
  - ・学校等への木製品導入 161施設
- (3)県民協働による森林づくりの推進
  - ・森林づくり活動への助成 延べ139団体
  - ・子どもの森の整備 60校
  - ・森林体験学習の開催 20回（2,051人参加）
  - ・パンフレットの作成 毎年度作成
  - ・県広報紙「ひばり」への特集記事掲載 6回



原木市場

【事業の成果の総括】

間伐や平地林等の整備により、当初計画のとおり約37,000炭素トンの炭素吸収効果が見込まれており、この数値は、平均的な家庭における炭素の年間排出量の約25,400世帯分に相当します。

2. 次期森林湖沼環境税を活用した施策の方向性

税の専門家で構成される茨城県自主税財源充実研究会では、森林湖沼環境税の今後のあり方についての検討を重ね、平成24年11月に報告書を取りまとめるとともに税充当の施策例を示しました。

これらに基づき、木を植えて、育て、伐採し木材を有効利用する「緑の循環システム」の確立に向けて、次期においても現行と同じ以下の3つの柱に沿った事業実施を検討しています。

(1)森林環境保全のための適正な森林整備の推進

- ・残されたスギ・ヒノキ林の緊急間伐
- ・通学路沿い等の平地林・里山林の整備
- ・荒廃した海岸防災林の再生など

(2)いばらき木づかい運動の推進

- ・木造住宅建築や公共施設等への支援
- ・間伐材等を有効活用するバイオマス利用の促進など

(3)県民協働による森林づくりの推進

- ・ボランティア活動への支援
- ・子どもたちへの森林環境教育の推進など



水源かん養などの公益的機能が低下した森林



松くい虫被害等により荒廃した海岸のマツ林

今後も、貴重な財源である森林湖沼環境税をより効果的に活用し、その成果が県民の目に見える形となる事業展開に努めてまいります。

# 協会だより

## 1. 治山・林道関係コンクール審査委員会開催

平成24年8月22日(水)、水戸において平成24年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール審査委員会を開催しました。

この審査会は、コンクール実施要領に基づいて毎年行っているもので今年度は、6月7日付けで、会員の市町村に林道維持管理コンクール実施の通知を行ったほか、各農林事務所にコンクール対象工事箇所の推薦依頼をしました。

その結果、今年度は治山工事、林道工事、治山・林道木材使用工事、林道維持管理各コンクール併せて24件が対象となりました。

コンクールの対象箇所の現地の状況や工事の完成度の現地確認を行いました。

審査委員会当日は、星林業課長の進行により、現地確認の結果や現地写真等を参考にして、審査委員の協議により順位を決定しました。

審査委員名簿・審査の結果は次の通りです。

### 《審査委員名簿》 ◎委員長 ○副委員長

所属課所	職名	氏名
茨城県農林水産部 林業課	課長	◎星 義雄
茨城県農林水産部 林政課	首席検査監	○神長 輝夫
県北農林事務所	林務部門長	斉藤 英樹
県北農林事務所 林務部門	森林土木課 大子分室長	神長 三郎
県央農林事務所	振興・環境室長	佐藤 明彦
鹿行農林事務所	振興・環境室長	河野 茂
県南農林事務所	振興・環境室長	加藤 智久
県西農林事務所	振興・環境室長	久賀 保之
(社)茨城県 治山林道協会	専務理事	鬼澤 昭和

## 《審査の結果》

### 1. 治山工事

順位	事業名	請負業者	備考
1	海岸防災林造成 第4号	(株)波崎建設 神 栖 市	中央 推薦
2	予防治山 第7-1号 平成22年度繰越分	(株)長谷川興業 桜 川 市	
3	予防治山 第1号	瀬谷建設(株) 常陸太田市	
4	予防治山 第9-1号 平成22年度補正分	大森建設(株) 大 子 町	
5	海岸防災林造成 第7号 平成22年度補正分	(株)田口工務店 大 洗 町	
6	予防治山 第2号	海老根建設(株) 大 子 町	
6	海岸防災林造成 第2号 平成22年度繰越分	常総開発工業(株) 神 栖 市	
6	保安林緊急改良 第6-1号	(株)いばらき森林サービス 常陸太田市	
9	奥地保安林保全緊急対策第2-1号 平成22年度繰越分	常北開発(株) 高 萩 市	
10	海岸防災林造成 第1号	東康建設工業(株) 東 海 村	



治山工事「海岸防災林造成 第4号」

(株)波崎建設



## 2. 林道工事

順位	事業名	請負業者	備考
1	奥久慈グリーンライン林道 第2号武生線改築工事 平成22年度繰越分	(株)鈴木組 常陸太田市	
2	奥久慈グリーンライン林道 第1号水根持方線開設工事 平成22年度繰越分	(株)大藤組 大子町	
3	国補林道開設 半田線(I工区) 平成22年度繰越分	堺建設(株) 石岡市	
4	国補林道開設 半田線(II工区) 平成22年度繰越分	小桜建設(株) 石岡市	
特別賞	国補林道開設第1号 芳立線開設 平成22年度補正・繰越分	(株)岡部工務店 日立市	中央 推薦



林道工事「奥久慈グリーンライン林道 第2号  
武生線改築」 (株)鈴木組

## 3. 治山・林道木材使用工事【施工部門】

順位	事業名	請負業者	備考
1	奥地保安林保全 緊急対策第2-1号 平成22年度繰越分	常北開発(株) 高萩市	治山 工事
2	予防治山第9-2号 平成22年度補正分	(株)大藤組 大子町	治山 工事
3	保安林緊急改良 第6-1号	(株)いばらき 森林サービス 常陸太田市	治山 工事



木材使用工事「奥地保安林保全緊急対策  
第2-1号」 常北開発(株)

## 4. 林道維持管理

順位	路線名	管理者	備考
1	岩の沢線	常陸大宮市	
2	平野線	桜川市	中央 推薦
3	長曾根線	北茨城市	



林道維持管理「岩の沢線」 常陸大宮市

★コンクール対象の中から中央協会の実施要領に  
基づき中央協会主催のコンクールに推薦しました。  
次の通り受賞しました。

### ◎ 林野庁長官賞

- ・ 治山工事コンクール  
海岸防災林造成第4号(神栖市)  
(株)波崎建設

### ◎ (社)日本治山治水協会長賞

- ・ 治山木材使用工事コンクール  
奥地保安林保全緊急対策第2-1号(高萩市)  
県北農林事務所 森林土木課 北条良敬

### ◎ 日本林道協会長賞

- ・ 林道維持管理コンクール  
平野線 桜川市
- ・ 林道工事コンクール  
芳立線 林道開設工事第1号(日立市)  
(株)岡部工務店



○ 協会の主な動き ○ 7月～12月

- ▲ 7月2日  
(社)茨城県林業協会第2回幹事会(水戸市)
- 7月5日～6日  
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会  
第33回通常総会(群馬県)
- 7月23日  
茨城県知事及び県議会議長へ「森林湖沼環境税」継続要望活動・知事懇談会(水戸市)  
公有林野全国協議会 監事会・理事会・  
通常総会(東京都)  
「除染等業務に従事する労働者の放射線障害  
防止措置のためのガイドライン」の改正等に  
係る勉強会(東京都)
- ▲ 8月4日  
「北浦広葉樹の森」下刈り体験(行方市)
- 8月9日  
(社)日本治山治水協会 理事会・通常総会  
(東京都)
- 8月22日  
茨城県民有林治山・林道関係コンクール  
審査委員会(水戸市)
- 8月28日  
第48回関東・中部地区治山林道研究発表会  
(水戸市)
- 8月31日  
関東甲静地区平成25年度治山林道事業  
林野庁・中央協会へ要望活動(東京都)
- ▲ 9月26日  
茨城県農林水産業関係団体連絡会  
事務局会議(水戸市)
- 9月28日  
(社)茨城県林業協会第3回幹事会(水戸市)
- ▲ 10月4日～5日  
全国治山林道協会会長会議(宮崎県)
- 10月9日～10日  
役員現地研修会・第2回役員会(青森県)
- 10月13日  
グリーン賞争奪球技大会(那珂市)
- 10月27日  
グリーンフェスティバル2012(那珂市)
- 10月30日  
茨城県農林水産業関係団体連絡会県選出国  
会議員との懇談会(東京都)
- ▲ 11月1日  
「森林湖沼環境税」に係る意見交換会(水戸市)

- 11月11日  
第36回全国育樹祭(静岡県)
- 11月12日  
日本林道協会通常総会  
治山・林道コンクール表彰式(東京都)
- 11月13日  
平成24年度茨城県表彰式(水戸市)
- 11月16日  
年末調整説明会(水戸市)
- ▲ 12月2日  
第9回みどりの羽根チャリティーゴルフ大会  
(常陸大宮市)

今後の予定

- 1月10日  
明日の茨城づくり新春の集い
- 1月15日  
全国治山林道協会会長会議・民有林振興会  
総会・セミナー
- 1月23日  
平成25年林業団体合同新年の集い
- 2月4日～5日  
北関東治山林道協会連絡会議開催

「みどりとともに」

(年2回 発行)

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 山口 伸樹

水戸市三の丸1丁目3番2号  
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「氷結した袋田の滝」  
久慈郡大子町袋田地内  
佐藤征男氏撮影